

「ふくおか」の
元気な企業を訪ねて。

Hello, Company! No.128

CHAMP CAFE
(糸島市)

CHAMP CAFE(チャンプ カフェ)は、飲食店経営と加工食品製造販売事業者です。料理人だった岡田健太郎店長と妻のゆう子代表が2018年に糸島市で店舗をオープンしました。コロナ禍を機にキッチンカービジネスに注力。ハンバーグやパスタ、レモネードなど、地元糸島や九州産の食材にこだわった料理と飲み物を販売しています。ドレッシングなど自社加工食品は、JA糸島産直市場「伊都菜彩」でも販売しています。(公財)福岡県中小企業振興センターから二つの支援を受けて事業拡大を目指します。



コロナ禍以降キッチンカービジネスに注力した

糸島食材でキッチンカー、 加工食品ビジネスも並走

地域産の食材利用がアピールポイント



Instagramでは材料の確保から販売までの過程を紹介したと岡田代表

最初の支援は「経営革新計画伴走支援事業」でした。全国で複数の「道の駅」を立ち上げた専門家が担当に就きました。店舗運営の豊かな知識や経験に基づいたアドバイスが役に立ったと言います。ドレッシングやソース類など自社製品に糸島や九州産の材料を使っ

ていることを大きなアピールポイントにすべきだとの助言がありました。店のInstagramは、できあがった料理の掲載だけでなく、材料の確保から販売までの過程を紹介すると面白いとの提案を受けて実行しました。岡田代表は「実際にプロセスを紹介すると『いいね』の数が増えた」と振り返ります。

事業の成長で雇用を目指す

2回目の支援は「柔軟な働き方制度等導入のための社会保険労務士派遣事業」でした。岡田代表は、「前回の伴走支援の時と同じ専門家が担当だったので信頼して相談ができた」と言います。この支援では従業員の雇用について相談。専門家からは、雇用の際の情

報収集や準備の重要性についてアドバイスを受けました。高齢者雇用に対する国や県の助成金を活用することなどは「目からうろこ」の情報だったそうです。岡田代表は、雇用を実現するにはキッチンカー事業の成長が必須の条件と捉えて将来の課題と考えます。



地元の食材で作った自作品のドレッシング

積極的な経営姿勢で事業を強化

岡田代表は、今後もキッチンカー事業を強化していく方針です。専門家の助言は気づきや学びが多かったと言います。ドレッシングやソースなどの自社開発製品の卸しが取引先によっては長続きしないと相談した際には、取引先には遠慮をせずに理由を聞いてみることを勧められました。理由が分かれば改善につながります。はっきりと答えてくれない取引先があっても積極的に聞いていく姿勢は経営姿勢となり、業務の改善や信頼関係の構築につながるということを学んだと強調します。



今後もキッチンカービジネスを強化していく方針だ

DATA | 企業概要



企業名 CHAMP CAFE
代表者 代表 岡田 ゆう子
所在地 福岡県糸島市志摩小富士905-2
TEL 050-3550-1912
URL <https://www.instagram.com/champcafe.itoshima/>
従業員 2人
事業内容 飲食店経営、移動販売、加工食品製造

MESSAGE | 経営者の声



岡田 ゆう子 代表

店名は、飼っていた愛犬の名前「チャンプ」から付けました。キッチンカービジネスは、ライバルの参入により良好な場所の確保がますます難しくなっています。運営が天候に左右されやすいという難しさもあります。一方、店やメニューの個性を打ち出しやすく、機動性が高いというメリットは、新規エリアで新たな顧客獲得の可能性を広げ、地域の活性化につながります。今後もキッチンカービジネスを主軸にメニューや商品開発を続けて、将来は全国展開をすることが目標です。

〈お問い合わせ〉 経営力再構築課 TEL: 092-622-5432